

キーワードで探す



Google™

?ヘルプ

🗺️ サイトマップ

文字を大きくするには

ホーム 観光 くらし・医療・福祉 環境・まちづくり 教育・文化 産業・経済 行政・政策・税

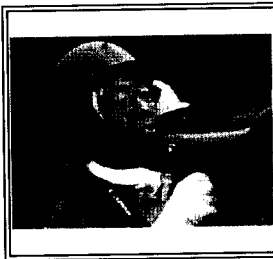
ホーム > 地域振興部 > 地域政策課 > 火山マイスターフォーラム

前のページへ
もどる

伊達市、洞爺湖町、壮瞥町などから、約80名の参加がありました。

◆ 講師

北海道大学名誉教授 岡田 弘 氏



長野県生まれ、北海道大学で地震学を学び、有珠山麓の付属有珠火山観測所で20年間噴火予知研究に専念。
2000年有珠山噴火では、火山の静穏な時期から行っていた長年の住民への啓発活動や、関係機関と連携した防災対策への助言により、スムーズな事前避難につながる直前予知と減災支援で大きな成果に恵まれました。
こうした功績により、平成13年度防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞。「有珠山のホームドクター」として知られています。
科学者・行政・マスメディアの連携で住民の安全を支援する減災のテトラヘドロン(正四面体)を提唱しています。

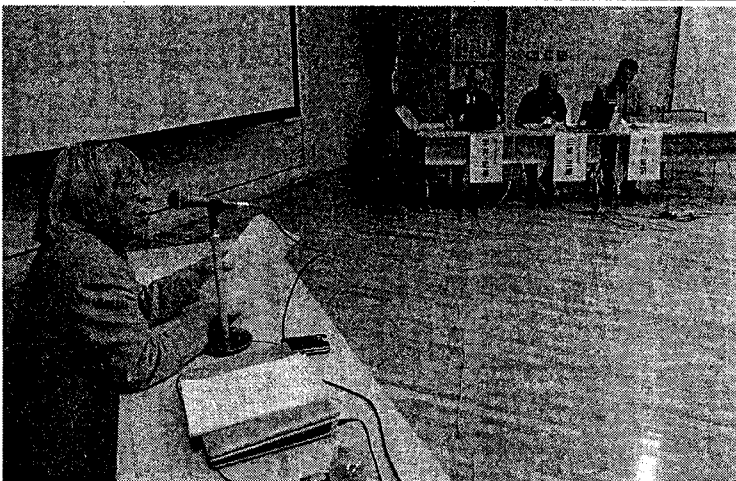
基 調 講 演	座 談 会	会 場 発 言 風 景
<p>「地球の鼓動が魅せる ありのままを次世代へ、世界へ！」と題して、岡田先生が講演しました。</p> <p>世代を超えて噴火の記憶を引き継いでいくことが大切。また、そのためには、文書や画像などの過去を記録したツールも必要。こうした場面でも火山マイスターの活躍に期待できる。</p> <p>パンフレットや看板など、有珠山に対するいろんな間違いや誤解がある。これからは、世界に通用する「ハイスタンダード」を目指して欲しい。そのためには、地域に暮らす人が自ら考えることが大切。</p>	<p>岡田先生を座長とし、3名のパネラーを交えた座談会形式で火山マイスター制度について考えました。</p> <p>パネラーからは次のような意見が出されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この地域にいろんな意見があることがうれしい ●マイスターはもちろんのこと、サポーター(裾野)が広がることを望む。 ●地域内では、火山についてよく知る人が増えて欲しい。地域外に対しては、適切な情報を的確に伝えることが大切。そのために火山マイスターが果たす役割は大きいと思う。 	<p>会場からも活発な意見が出されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大事なのは住民が汗をかくことだが、とても難しい。 ●普段、観光ガイドをしているが、正確な知識のレベルを上げる必要性を感じている。 ●学者や行政だけでなく、生活者の側からも後世に伝えていくことあるはず。 ●この地域に育った若い人にもっと参加して欲しい。サポーターは中高生でもいいのでは？ ●火山に対する教育は大切と痛感。火山マイスターに期待

このページのトップへ戻る▲

「有珠山の知識伝えよう」

火山マイスター住民にアピール

フォーラム



火山マイスター制度をアピールしたフォーラム

狙いや考え方を広く地域住民に知ってもらおうとフォーラムを開いた。

およそ八十人が参加。岡田弘・北海道大学名誉教授が「地球の鼓動が魅せるありのままを次世代へ、世界！」と題して基調講演し、火山マイスターは、住民向けと観光客向けの両面で正確な知識と地域の魅力を伝えるべきとの役割を示した。

引き続き、岡田氏、宇井忠英・北大名誉教授、三松三朗・三松正夫記念館長、小川裕司・洞爺カイドセンター代表による座談会が開かれ、制度ができることで、地域の若い世代の学習意欲を刺激できるなどの考え方が示されていた。

伊達

胆振支庁主催の火山マイスターフォーラムがこのほど、伊達市消防・防災センターで開かれ、現在検討中の「火山マイ

スター制度」の狙いなどを住民にアピールした。

支庁では地域の防災力を高めつつ、洞爺湖や有珠火山地域の魅力発信を目的とした同制度の実施を検討している。制度の

火山とどう共生

「マイスター制度」

伊達でフォーラム

【伊達】胆振支庁が独自事業として取り組む、火山マイスター制度への理解を深めるためのフォーラム(同支庁主催)が二月二十九日夜、市防災センターで開かれた。約百人が参加。火山との共生や、防災活動の普及に加え、洞爺湖・有珠山周辺の魅力を発信していく



制度について学んだ。岡田弘北大名普教授が、火山マイスター制度とジオツーリズムについて基調講演。米国ハワイの国立公園では、危険な場所を具体的に説明しながらありのままの自然を見せる工夫が行われている

る例などを紹介した。岡田氏の司会で、宇井忠英北大名普教授、三松三朗・三松正夫記念館館長、小川裕司洞爺ガイドセンター代表らによる座談会も行った。写真。三松館長は「噴火の記憶、防災の知恵を次世代にバトンタッチしていく必要がある」と、火山マイスターへの期待を述べた。

制度は新年度に導入予定で、「洞爺湖有珠火山マイスター」と名付けられる地域限定称号。養成講座受講者をサポートとしてま

登録し、認定審査やフィールド審査などを経て、マイスターに認定する。

整理 番号	年 齢						性別		市町村					火山マイスターへの期待	火山と暮らすことへの感想	その他
	～29	30代	40代	50代	60代	70～	男	女	伊達市	豊浦町	洞爺湖町	社管町	その他			
19						○	○						白老町	噴火時に心がけること教えて欲しい	自然の恐ろしさを軽視したからここに街ができたのでは	
20				○			○				○			途中で腰砕けにならないように	プラスイメージが強い	1市3町が一つにならないと対応がばらばら
21					○		○					○		住民、専門家が連携できる良いシステム	どこに住んでもリスクはある。正しい知識を持っていれば大丈夫	火山の記録作りが制度の目的の一つになれば有意義
22				○				○			○			噴火の記憶を語り継ぐ人材づくり大事		
23		○					○				○			強く進めると引いてしまうのでゆるくしてほしい	噴火のパターンを理解すればそれほど危険ではない	応援したい
24				○			○			○				地域限定ではなく全道、全国を視野に	魅力ある地域	
25			○				○			○				来るべき噴火の備えを火山を住民に知ってもらいたい	前触れはあるがやはり心配	
26														人が人を選べるのか	大変なハンデ	
27														噴火の体験持つ人が語り継いで減災に生かして欲しい	うまく利用すれば有益な地域	
28			○				○					○		国、道が、セントヘレンズのように自然、防災教育を行う仕組みを作るべき	隣人、恵み	
29						○				○				何時も人と会話できる人を望む	常に危険が近くにあることを意識することが大切	日頃の備えが大切
30						○	○				○			観光振興、歴史伝承	共生し、活用すべき	
31				○			○				○				地球の動きを実感できる山	
32						○		○			○				3度の噴火を経験。少しでも学び、孫に伝えたい	
33				○			○			○				最新の知識を知りたい	驚異であるが、生きた教材	
34					○		○			○				「次世代へ」の言葉に責任を感じる	恵まれた環境で幸せ	この地域を世界に誇れるようにしたい
35				○			○				○			知識教育は一つの目標として必要	住民が活動するチャンス。マイナスではない	
36						○	○				○			宝の山、怖い山		
37						○	○				○			正確な情報を伝えるため、この制度は大切	貴重な財産	

整理 番号	年 齢						性別		市町村					火山マイスターへの期待	火山と暮らすことへの感想	その他	
	～29	30代	40代	50代	60代	70～	男	女	伊達市	豊浦町	洞爺湖町	壮瞥町	その他				
38			○					○					室蘭市	人材育成の大切さが分かった	火山は、外国人にとって特に興味深いらしい。正しい知識でガイドしたい		
39				○			○				○			火山を有効に活用し、町の発展につながることを期待	あまり意識していないが、自然や温泉を誇れる		
40						○	○				○			修学旅行生の案内に人手が足りない	前回噴火から既に8年、地域の意見交換が必要		
41						○	○				○			どんどん進めて	3度の噴火を経験。地域を知るきっかけになった		
42					○			○	○					最近、エコミュージアム、ジオパークを知り興味持った。是非参加したい	見ても登ってもすばらしい山。危険は承知しているつもり	「地球は生きている」を実感できる場所	
43					○		○					○		期待する。協力したい	火山を知るため、参加し考えたい	ガイドだけでなく、いろいろな活動のサポートなど多様な構成を望む	
44					○			○					○	観光ガイドだけでない広い活動を望む。サポーターは参加しやすいかも	この地に移り住まなければ分らなかったすばらしさを感じている		
45		○						○					○	教育分野との連携に期待	すばらしいところに住んでいる実感		
46																	
47																	
48																	
49																	
50																	
	0	3	6	15	10	9	31	10	13	0	15	6	7				

注1:参加者約80名(伊達市24、洞爺湖町21、壮瞥町12、室蘭市10、その他11、上記名者のみ)

注2:アンケート記入者45名

注3:未記入の欄があるため、年齢、性別等の合計は45名に合致しない